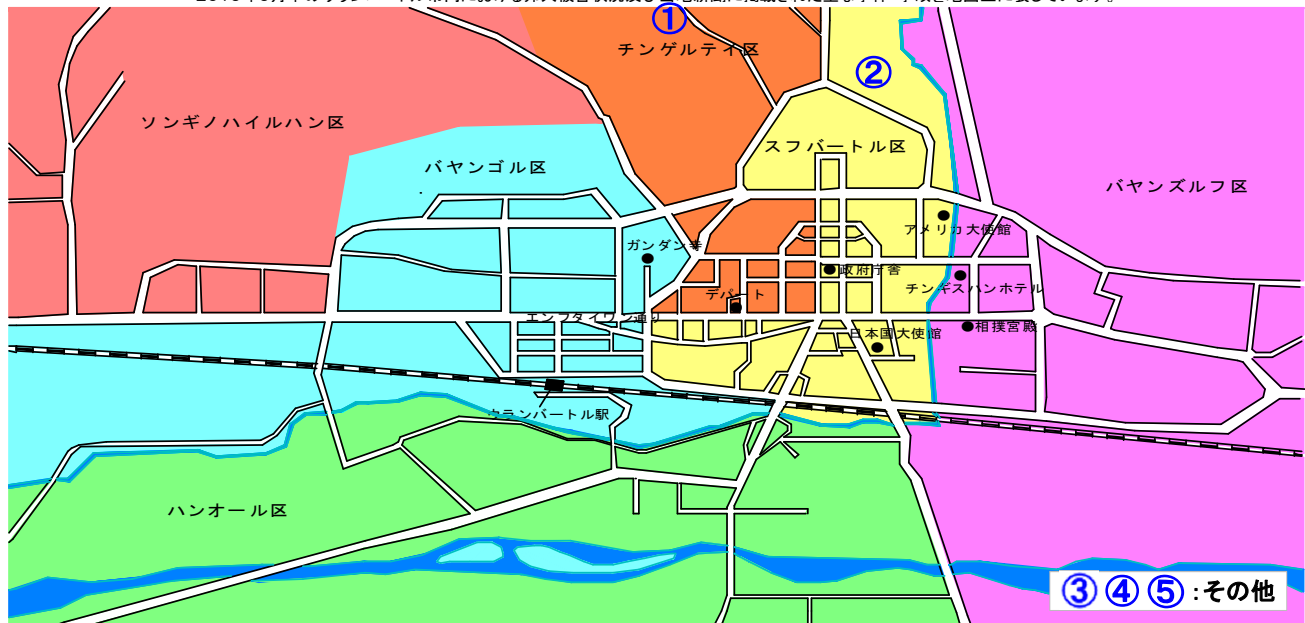


UB CITY 安全情報 (2019年10月号)

2019年9月中のウランバートル市内における邦人被害状況及び当地新聞に掲載された主な事件・事故を地図上に表しています。



※邦人被害状況（大使館調べ）

事件発生日時	事件発生場所	状況
	把握なし	

※当国新聞掲載事件・事故

掲載日(任国新聞)	場所	被害者(性別・年齢等)	犯人(性別・年齢等)	
① 9月6日 金	チンゲルテイ区 第13ホロー地内の道路上	40歳女性	モンゴル人男性	大麻の所持：5日(木)、チンゲルテイ区第2警察署は、第13ホロー地内で車両検問に従事していたところ、モンゴル人男性1名が運転する車両に大麻36.5キログラムが積載されているのを発見。運転手を大麻取締法違反の容疑で現行犯逮捕した。
② 9月6日 金	スフバートル区 第12ホロー地内の一般住宅		53歳男性	殺人事件：4日午前4時頃、警察緊急電話に通報が寄せられたことから、警察官が現場確認したところ、40歳女性が同居していた53歳の男性に殺害されているのを発見した。これまでの警察に捜査により、犯行時、同男性は飲酒していたことが判明している。
③ 9月9日 月	チンゲルテイ区、バヤンゴル区 に所在するナイトクラブ	モンゴル人4名 (性別等不明)	男女24名 (21～45歳) (内、ドイツ人2名)	大麻の使用・所持：モンゴル警察庁薬物対策局は、6～7日夜間、チンゲルテイ区とバヤンゴル区にあるナイトクラブに立ち入り、利用客計87名に薬物検査を実施した結果、男女24名から陽性反応が出たことから、大麻取締法違反の容疑で現行犯逮捕した。使用者の中に、ドイツ人2名が含まれていた。
④ 9月13日 金	ソンギノハイルハン区 一般住宅及び路上		モンゴル人男性	ナイフ使用の無差別刺傷事件：11日、ソンギノハイルハン区で被疑者が飲酒の上、モンゴル人男性1名と口論になり、酒の空き瓶で同人の首を刺した。その後、被疑者は自宅からナイフを持ち出し、外の通行人を特別な理由も無く次々と刺して怪我を負わせる事件が発生した。
⑤ 9月17日 火	スフバートル区 セレベ川沿い河川敷	48歳女性	捜査中	強姦致死容疑：15日、スフバートル区地内を流れるセルベ川沿いの河川敷から女性の全裸死体が発見された。遺体には被疑者から暴行を受けたものと思われる多数の傷が確認されたことから、警察当局は、被害者が強姦被害に遭った可能性が高いとみて捜査を継続している。

	殺人	屋外強盗	屋内強盗	屋外窃盗	侵入窃盗	暴行・傷害	強姦	薬物犯罪	詐欺	誘拐/行方不明	その他	合計
スフバートル区	2											2
ソンギノハイルハン区						1						1
チンゲルテイ区								2				2
ハンオール区												0
バヤンゴル区								1				1
バヤンズルフ区												0
その他(不明等)												0
合計	2	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0	6

・9月はナイフ使用の無差別刺傷事件や殺人事件2件(内、1件は強姦致死の容疑)など、凶悪事件が相次いで発生しました。その内、2件は飲酒に起因する事件と判明しています。酔っ払いに絡まれることを避けるため、そのような人間には不用意に近づかず、節度を欠いた飲酒が行われている場からはなるべく遠ざかるようにしましょう。

・また、上述のとおり、スフバートル区地内で強姦致死容疑事件が発生しています。夜間の女性の一人歩きは極めて危険なので、タクシーなど車を利用するとともに、夜間は人通りの少ない場所や街灯がない暗い路地を避けて歩くようにしましょう。